

シンポジウムのご案内 研究者、大学院生、学部生 対象

身体イメージの創造

感染症時代に考える伝承・医療・アート

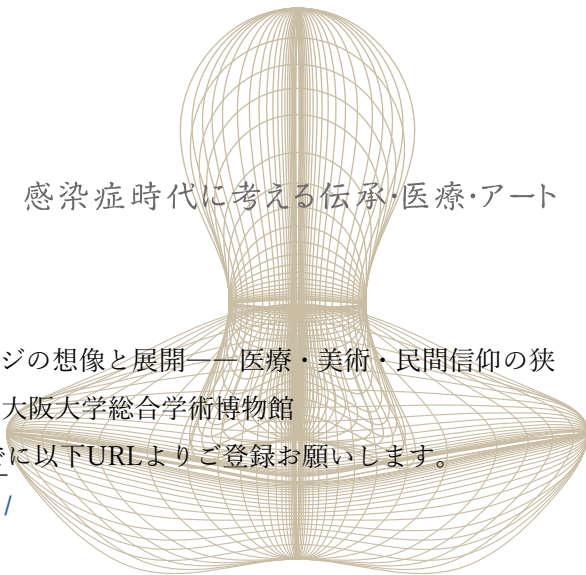
日時：2022年2月6日（日）13：30～17：00

会場：オンライン（シンポジウム）

主催：国際日本文化研究センター共同研究会「身体イメージの想像と展開——医療・美術・民間信仰の狭間で」（安井真奈美、ローレンス・マルソー代表）、大阪大学総合学術博物館

申し込み：事前申し込みが必要です。2月4日（金）17：00までに以下URLよりご登録をお願いします。

予約フォーム：<https://ws.formzu.net/dist/S72950811/>



【 プログラム 】

13：30～14：00

シンポジウム

「身体イメージの創造——展示のねらい」

安井真奈美（国際日本文化研究センター）

ローレンス・マルソー

（立命館大学アート・リサーチセンター）

総合司会：波瀬山祥子（大阪大学総合学術博物館）

14：00～14：40

セッション1「身体表現」

文学・美術・啓蒙ビラなどの創作メディアの視点から
身体表現を考える。

コーディネーター ローレンス・マルソー

ディスカッサント

石上阿希（国際日本文化研究センター）

板坂則子（専修大学）

坂知尋（龍谷大学世界仏教文化研究センター）

鈴木則子（奈良女子大学）

14：40～14：50 休憩

14：50～15：30

セッション2「医療と美術の狭間」

医療と美術における身体表現を、鍼灸銅人形などを
がかりにして考える。

コーディネーター 安井真奈美

ディスカッサント

稲田健一（鍼灸師）

姜姍（北京協和医学院）

遠藤誠之（大阪大学大学院医学系研究科）

倉田誠（東京医科大学医学部）

15：30～15：40 休憩

15：40～16：20

セッション3「アートとテクノロジー」

感染症の時代にアートとテクノロジーによる身体
表現／身体の拡張を考える。

コーディネーター 伊藤謙（大阪大学総合学術博物館）

ディスカッサント

木森圭一郎（九州産業大学）

五十里翔吾（大阪大学大学院基礎工学研究科）

武澤里映（大阪大学大学院文学研究科）

布施琳太郎（アーティスト）

16：30～17：00 ディスカッション

閉会の挨拶 安井真奈美